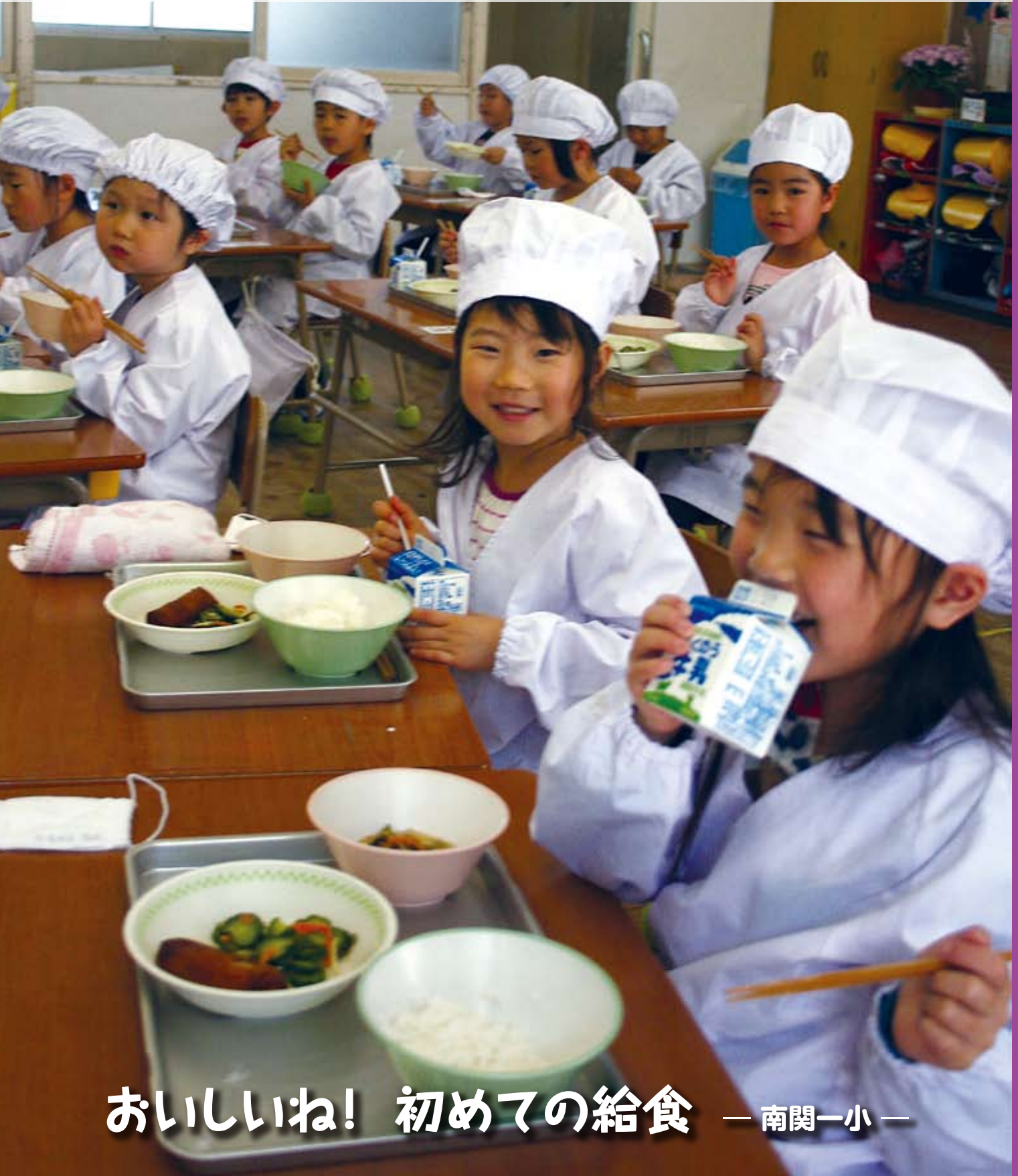


24年度一般会計予算.....②③
議案審議.....④

一般質問のやりとり報告.....⑤～⑩
企業誘致のお知らせ.....⑪



おいしいね! 初めての給食 — 南関一小 —

平成23年度南関町議会第8回定例会が 3月9日から3月16日まで開かれました。

南関町暴力団排除条例の制定と南関町条例の一部改正（報酬、費用弁償等に関する条例、南関町消防団の設置等に関する条例、南関町税条例、南関町介護保険条例、南関町営住宅管理条例、南関町下水道条例、南関町浄化槽施設の設置及び管理に関する条例、南関町公民館条例、南関町立図書館設置及び管理に関する条例）について議案第1号から10号まで、平成23年度南関町一般会計補正予算、各特別会計の補正予算について議案第11号から18号まで、平成24年度南関町一般会計予算、各特別会計予算について議案第19号26号まで、町道の路線廃止、認定について第27号から28号議案まで、28の議案が審議され全議案が承認議決されました。

請願・陳情の取り扱いと結果

- 公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める陳情 **採択**
- 種鶏孵化場の臭気改善を求める陳情 **継続審査**
- 建設に働く仲間と地域経済を救うルールづくりに関する請願 **継続審査**
- 南の関うから館運営等に関する要望書 **一部採択**
- 町保育園の25年度統合一園化撤回を求める請願書 **不採択**

請願紹介議員：鶴地議員

採択議員 唐杉、島崎、鶴地、境田議員 不採択議員 酒見、橋永、山口、田口、打越、井下議員

請願の内容：子どもの減少、コスト削減、サービス拡充のために進められた保育園民営化統合であったが、策定当時との社会情勢変化、3園が統合した結果、定員(180人)を超える状況になったこと、出生数が増加(本年度の出生数、昨年度比1.4倍の88人)していくと推測されること、待機児童を作らないまでも過密すぎる保育環境はよくないとして、統合を拙速に平成25年度と決めることなく、事業の展開を見守り当面5年以上の公立・民間二園体制での保育園存続を要望するという内容でした。

本件請願書については、所轄の委員会での審議の結果、不採択とされた報告を受けて質疑・討論が行われました。民営化検討委員会で統合時期を平成25年4月とすることが望ましいという答申が出ていること、保育園の民営化・統合計画は十分論議されたことであり、予定通り進めるべきだといった不採択理由に対し、請願理由の肯定、保護者の選択肢を残すべき、統合撤回に1,700人も署名が集められたこと、国の政策も不安要素があり25年度の統合は待つべきであるといった意見が述べられ、意見が別れたため採決となり、不採択6、採択4で不採択となりました。

視察研修に行ってきました

産業厚生常任委員会 1月12日(木) 荒尾市原万田の三池炭鉱を視察

国の重要文化財であり、世界遺産として登録申請中の万田坑を視察しました。施設ボランティアガイドの方から説明を受け、産業遺構の歴史的価値と施設の保存管理状況等について研修しました。



総務文教常任委員会 2月14日(火)～15日(水) 三重県玉城町を視察



オンデマンド型交通システムについて研修しました。これは赤字のバス路線の代わりに、ワゴン車や乗用車を使って利用者の玄関先から目的地までドア・ツー・ドアで送り届けるサービスのことです。バス路線が次々と廃止される状況下、赤字バス路線に対する補助金は自治体の大きな負担となっています。今後の高齢化に伴う交通弱者・交通難民を考えると、交通体系への取組みは喫緊の課題です。今般、三重県玉城町がGPSとコンピューターシステムを活用し、試験段階から既に実施段階に入り大きな効果が得られているところから、当町においても実施できないかと研修を行いました。当町は玉城町より面積で1.6倍、人口は逆に2/3であるところから条件面でかなりの差がありますが、今後引き続き研究していく価値は十分あるものと判断しました。



酒見 喬

11番議員

まちづくり推進事業の 検証と今後のビジョンは

酒見

出生数も増加傾向にあり

町長 住んでよかった町にしたい

①まちづくり対策

Q まちづくり推進事業
発足から一年経過、
検証と今後のビジョンを
聞きたい。

A 町長 社会情勢の変
化により国内ほとん
どの地方で人口減少が続
いている。南関町もそう
した状況を踏まえ何とか
しなければと思い「住宅
対策」「産業の振興」「雇
用対策」「定住対策」な
どを柱として取り組んで
いる。

A まちづくり推進課長
事業項目によりかな
りの差が出ている事業が
ある。例を挙げると住宅
取得補助金、関所っ子誕
生祝い金、空き店舗等活
用助成金などは既に予定
した件数を超えている
が、転入者引越し奨励

金、新規雇用奨励金、新
幹線通勤助成金ではかな
り少ない件数となってい
る。

Q 住宅取得等について
は新築、中古住宅取
得等あるかと思うがど
のような件数があるか。

A まちづくり推進課長
新築の件数について
は22年度で15件、23年度
で20件あり徐々に増加傾
向にある。

Q 空き家、空き店舗対
策について尋ねる
が、今町内にはどれくら
いの数があるか。

A まちづくり推進課長
現在、空き家が165件、
空き店舗が6件、宅地が
36件ある。空き家バンク
についてはホームページ
などで紹介しながら積極
的に動きたいと思ってい
る。

Q 今後まちづくりのビ
ジョンについてはど
のように考えているか。
出生数も増加傾向にあり
一つ目に生み育て易い環
境の整備、二つめに働く
場所と住む場所の確保、

三つ目に高齢者や体の不
自由な方が安心して暮ら
せる環境の整備に取り組
み、多くの人が南関町に
住んでよかったと思っ
てもらえるようなまちにし
たい。

②農業対策

Q 光の见えない農業政
策の中で国内農業は
安価な輸入農産物に押さ
れ苦戦を強
いられてい
る。そのよ
うな中、町
では中山間
整備事業で
の圃場整備
事業も進ん
でいる。T
PPなど国
の農業政策
が大きく転
換期を迎え
る中、町の
農業の将来
をどのよう
に考えるか
聞きたい。

A 町長 町では水稲を
中心に大豆やハウス
園芸、露地ナス、里芋等
栽培され近郊市場や消費
者に届けられている。し
かしながら食生活の多様
化などにより消費は減少
傾向にあり、農家は安定
的な収入が見込めず高齢
化、兼業化が進み、耕作
放棄地が増加傾向にあ
る。

Q 国が目標としている
ような農地の集積は
できなくとも、意欲のあ
る農業者に農地の集
積を促し、応援して
後継者を育てなけれ
ばならないがどう考
えるか。



A 経済課長 農業の
基本は農業者と
農地である。町とし
ても中山間圃場整備
事業で安心安全な形
で農業ができるよう
進めている。国が進
める集落営農も考え
ながら圃場整備単位
で農業機械の購入等
を進めながら、過剰
な設備投資を避ける
ようなことを考えて
いきたいと思ってい
る。

橋永

関所太鼓はどうなったか

今後新しい形での組織作りを 検討したい

まちづくり推進課長



橋永 芳政
9 番議員

Q 宝くじ補助金を使い太鼓を購入された、平成元年から、十二年頃と思うが、すたっと止んだ。南関町に太鼓があるのに叩き手がない。そして、格納庫も町民グラウンドの隅に立派な格納庫もある、覗いてみたら直にそのままである。よこにしてあるなら傷まんが、立てて置いてある。太鼓も高かったと思う、管理者責任の危機管理がかけとる。今後どういった方向で考えておられるのか質したい。

まちづくり推進課長

A 関所太鼓振興会は平成元年12月に設立されましたが、目的としましては、太鼓演奏を通じて広く地域の連帯意識の高揚と活力あるまちづくり

りを目指し、郷土文化として築き上げ、後世に伝承することとなっております。関所太鼓振興会は町内外のたくさんさんのイベント等にも参加されまして、南関町のPRにも努めるとともに、活気あるまちづくりに大きく貢献いただいたものではないかと思っております。残念ながら、平成14年度までで会の存続ができないう状況となりましたが、その後もですね、町内の小中学校から依頼があれば元会員の皆さんが指導に出掛けることは続けておられる状況にございます。

それと、太鼓倉庫、それと太鼓につきましてはですね、まちづくり推進化のほうが窓口、管理しておりますので、今後ですね、先ほど写真も見せていただきましたけれども、そういったことがないよう気をつけながらですね、太鼓の管理等も行っていきたいと思っております。

Q 関所太鼓打ち手も数名おられるようなこと
また、関所太鼓保存会の立ち上げにしましてはこれまでも太鼓が好きな方とかですね、子どもさんからですね、是非習わせたいとか、保護者からお話を伺ったこともありまして。

となのでご依頼をされ、関所太鼓の伝承に励んでいただきたい。

まちづくり推進課長

A 保存会の立ち上げにつきましては、大蛇山振興会にも小学生から一般の方が加入してですね、太鼓を叩いております。太



鼓の練習もして、太鼓に関心をもっておられる子どもさんもたくさんおられますし、保護者もまた何名もさせたいと、思っておられます、子どもたちを巻き込んだような形でですね、新しい形で組織ができかなとは思っています。

文化を継承していくために指導者の育成、それと後継者、指導者とともに、やはり小さい子どもからそういったことを教えていく必要もありますので、やはりそういった関所太鼓振興会の元会員の方、それとやっぱり今活動されている大蛇山振興会のそういった指導者の方々ですね、指導があればですね、町としてもいろんな動きをする中で助かる部分もございまして、そういった方の協力をいただきながら行政が支援するところはちゃんとすると、そういった気持ちはもって積極的に対応していきたいと思っております。



鶴地 仁
4 番議員

公共施設の危機管理対策は

鶴地

なお一層管理の徹底を 図りたい 町長

①管理マニュアルは整備されているか

Q スポーツ施設、学校、公園等の設備や遊具、町内各所の標識や看板等の倒壊による事故を未然に防止するための対策はどうか。

A 町長 公共施設の管理については庁舎管理規則と財務規則によって、所管課長、教育長に委任をし、それぞれの施設の管理を行っている。町では利用者の安全性の確保に万全を期しているが、全国的には自治体の管理瑕疵による訴訟も発生している。今後、なお一層管理の徹底を図り、マニュアルや施設の修繕、改修計画等の策定も併せて検討しなければならない。

Q 最近、標識柱が倒れ、駐車中の車が損傷したといった公共施設の管理不良

による賠償問題が発生したりしている。危機管理はすべての課に関係するので、そのマニュアルの有無、課ごとの取り組みを尋ねる。

A 教育課長 学校教育では、安全教育全体計画というのが作られ、定期の校舎内外点検、修理、危険箇所の周知といったマニュアルがある。社会教育においては、B&G海洋センター、農村広場等があるが、マニュアルは作っていない。24年度中にチェックリストを作りたいと考えている。

※その他の課においても、定期的な点検や管理、安全対策に努められているが、保育所以外は管理マニュアルの策定はされていない状況であった。

おしひ 事故防止の取り組みは、避難訓練の実施といったことも含め、マニュアルの整備、危機管理に取り組みで頂きたい。

Q 河川の環境保全対策を問う
河岸工事の殆んどが治水平に捉われたブロックによる工事である。僅かに残っているホタルの生息地を守

り、魚が増える、河岸に緑が戻る環境保全型ブロックに取り組みむべきだ。

A 町長 河川の整備にについては、生態系・周囲の環境に配慮した整備を推進しており、河川の水質浄化のために、公共下水道、浄化槽整備事業に取り組みている。事業所からの排水を流基遵守の指導にも努力をしているところである。

A 建設課長 河岸工事の積みブロック工法が主であったが、河川環境の保全のため

籠マット工法に変わり、現在では公共災害復旧事業においては環境保全型ブロックを使用した施工も行っている。

Q 自然災害で、度々河岸が壊されて修復をされているが、環境保全型ブロックによる工事はどの程度か。
A 建設課長 平成18年に初めて環境保全型ブロックが採用され、平成21年から籠マットから環境保全型ブロックに変わり、実績が上がっているところである。

Q 総延長にしてみれば、おそろしく0.何%ではないかと思う。これではホタルは減ってしまい、魚も少なくなってしまう。色々な環境保全型ブロックがあるので、今後の工法のあり方について問う。

A 建設課長 自然に配慮する工法がいいとは思いますが、災害復旧になると制約がかなり大きいので、研究しながら進め

ていかなければならないと考えている。

Q 災害のときは復旧を急かされる。壊れそうな場所は予想もつので、予めどのような工法で復旧するか、事前に調べておくべき。子どもには自然の中で遊んだ思い出、体を使って遊んだ体験が大事で、南関に残りたいと思うような自然環境と環境学習の取組みが大切だ。
A 教育課長 環境の教育、魚を捕ったり自然に遊ぶという教育が必要だと思う。学校教育の総合的な時間の中でも環境の学習を増やしていきたい。

※河岸工事の他、○河川清掃の実施時期と対策 ○河川の汚染防止に対する取組みといったことについても質問しました。紙面の都合上、このことについては議事録をご覧ください。

おしひ 自然は自分たちだけのものではない、魚や動物物も含め、私たちの子孫まで含まれるので、治水から親水へ方向転換すべきである。



境田 介護予防サービスに力を

おろそかにはしていない 福祉課長



境田 高敏
2 番議員

Q 平成18年4月に介護予防システムは導入されました。軽度の人のサービスの拡充は、重度化する人を減らし元気な高齢者を増やすことにつながります。また、介護保険料の増加を抑えるにも介護予防サービスに力を入れることが大事ではないのか。

A 福祉課長 予防事業に干の上乗せをした。

Q 認知症の方を介護する人が目を離れた隙に、ふいといなくなれるときがあります。一人で出掛けられても、他の人は、認知症の方だと見分けがつきにくいために、山などへ迷い込まれたら、探すのに大変です。遅れば、命が危ぶま



ます。GPS機能が付いた機器とかを身につけさせるような対策は何かお考えありませんか。

A 福祉課長 今のところは考えていない。

Q 田舎の山奥でもない街のど真ん中で、今は、孤独死、家族の餓死といった今まで考えられなかった事故があつている。民生委員さんへの指導はどのようになっているのか。

A 福祉課長 各家庭での見守り等について、在宅要介護高齢者おむつ等費用助成事業では、要介護3から5までということ、月額3,000円を限度とし、購入費の助成を行っております。平成24年の2月現在延べ人数で184名の方が対象となっております。利用額としては、金額的に約80万円とい

う状況です。

おすし 介護は、なくてはならない事業です。弱者の立場に立って、行動することが私は大切だと思えます。高齢化が進みますが、高齢者の方々が、幸せになる、幸齢者になるように、私は取り組むべきだと思います。

定住化対策

Q 定住対策で、若者夫婦の年齢を合せて80歳以下の補助制度がありますが、年齢上げはできないか。

A まちづくり推進課長 若い方々が住みやすいためには、生み育てやすい環境づくり、それと働く場所と住む場所の確保、これは基本であると思えます。年齢の問題と、十分考えながら、検討させていただければと思います。

子どもたちへの自転車事故防止対策は

Q いつどこで加害者になるかもしれない。個人賠償責任保険の加入率はどのくらいか。

子どものことを言えば、町も何らかの対策、補助を考えておくべきではないか。

A 教育課長 中学校での紹介されている保険では、206名中118名で42.75%です。その他個人で入っている分と、自転車を買ったときに入れるシステムがあるということ、その数は把握できておりません。

教育委員会としては、生徒も加害者になり得るということ、安全走行の指導、または保護者への啓発やお願いということを第一義的に考えております。

A 総務課長 加害者になるケースはほとんど少ない。状況を踏まえて、投資効果、事業効果などを適確にどう判断するかを今後検討しなければならぬと思っております。

おすし 自転車も車と同じ車両であることを忘れてないことです。



唐杉 純夫
10番議員

介護保険料は 取りすぎではないか

唐杉

保険給付が上がっており やむなし

町長

財政計画

Q 住んでよかったプロジェクト推進事業と介護関係の増加分で合計しようど1億円の自主財源増となるようだが、この数値は財政計画に盛り込まれているか。

A 総務課長 盛り込み済みである。

Q 新しい計画を織り込んでも、基金は24年度単年度で対前年比で1億8千万円も増えている。つまり、使っても使っても減らない錯覚を覚えるような数字であるが、理由は何か。

A 総務課長 新幹線受託対策、経済危機対策、さらに第3次行政改革によるものが大きい。さらに過疎債適用の要因も大きい。

Q 10年間財政計画画では平成32年度まで延ばす

と、基金残は29億円となっているが、30億円を越すことは目に見えている。人口13,000人体制を目標とする定住化政策として何か目玉にするものはないか。

たとえば、民間、町営にするかは別途検討するとして、100戸建て、200戸建て、500戸建てなどの経済性計算、シミュレーションなどをしたことがあるか。

A 総務課長 ないが、土地開発基金も2億2千万円あり、事業主体をどこにするのかも含めて町全体でどうするか検討していきたいと思っている。

Q 体力実態は県平均をすべて下回っているというが、大変深刻な事態である。なぜか、改善策について。

A 教育長 小学校での共通ル投げ、俊敏生、柔軟性など特に課題がある。原因としては子どもたちが外遊びをしない、先生たちの体力向上への努力が足りないこともある。学校運営計画の中でそれぞれ各小学校で実態を



もに体力向上の具体策を計画を立てていくことで解決させたい。ただ、これが中学になると荒玉管内、県平均をすべて上回っている。これは中学校での部活指導が非常に熱心だということの現れだと思っている。

Q 産廃処分場問題 遮水工がいつ破損するか分からんという将来において漏水検知器はいつまで作動させるつもりか。

A 住民課長 廃棄物が安定化するまでの間ということが基本になってくる。発

生する汚水を管理し、漏水させないような働きをもつのが遮水工である。安定化後の汚水が発生しない時期になっても、その機能を有する必要はない。そして、万が一、漏水検知システムが作動しなくなったとしても、その下の地下水を検査していけば、水質の異常が検知できるというふうには説明している。

Q 産廃処分場の安定化と水が通らないところの産廃は生のままである。そういう状況で真の安定化と言えるか。まして地下水の検査でどうやって全体の水質以上を検知できるのか。

A 町長 第5次介護保険事業計画、介護保険料案は出たか。

A 町長 第5次介護保険事業計画策定策定

委員会において、十分な検討をいただいた結果を踏まえ、第4次の保険料基準額4,890円より100円アップの4,990円となっている。

Q 第4次策定の時も木に竹を接いだ予算と言っ、多額の予備費増を予言し、その通りとなった。23年度末の予備費は基金に繰り入れた金額を入れると8,500万円になる。これは介護保険料取りすぎによるものだ。予備費7,000万円は介護保険料いくらに相当するかは700円にあたると思うことだが、700円も余剰を出しながら、さらに100円アップとはどういうことか。

A 福祉課長 23年度の介護保険給付が前年度比で8%あがっていることに注目している。この傾向だと4,990円はやむなしと思う。

Q 23年度の流れは確かにおかしい。このまま給付費が増えるのであれば納得いくが、だからといって100円を上げなければならぬ説明にはならない。

町直営の子育て支援センター 存続望む署名を受けて

島崎



島崎英樹
6番議員

反省あるが、より良い 子育て対応へ

町長

①町子育て支援センターの4月からの民間委託と移設

Q 委託・移設先とされる有明中央福祉会・

こどもの丘保育園の受け入れ体制を町長としてどう見ているか尋ねる。

A 町長 委託予定の社会福祉法人はすでに他の自治体から委託を受け、子育て支援センターを運営している。受け入れ体制は十分。

Q 委託・移設後の職員体制はどうなるか。

A 福祉課長 2人体制で開設される。人員に無理はないと聞いている。

Q 現在のままの町直営による交流センター内の子育て支援センター存続を望む要望書と



500人を超える署名が町長に提出されたことと聞くと、要望書と署名を見た町長の感想を尋ねる。

A 町長 子育て支援センター事業の重要性和今後の事業に期待を頂いていることを改めて認識した。

Q 要望書と署名を提出する際に提出者がマスコミを呼んでいたように、しかし町が、マスコミに取材を断ったと聞いた。この対応を私は疑問に思う。

A 副町長（提出者から） 事前に町へ連絡もなかった。（マスコミ取材には）それなりの準備もあり、町長も覚悟がある。

Q マスコミは民主主義の一翼を担っている。町が痛い腹を隠したともとれる。今回、存続を求めて

動いたのは幼い子どもを持つお母さん方で、日々の子育て等に忙しい中、500人を超える署名を集めた。そこまで追い詰めたことを町は、反省すべきだ。

A 町長 反省するところはあると思うが、より良い子育てができるよう対応していきたい。

Q 町と建設当該3地区の地域振興策事業がまとまり県へ提出・要望

方法

A 町長 2月29日に県へ要望書を提出した。県には地元からの地域振興対策を優先的に実施してもらうよう伝えている。今回の要望書提出は地域振興協議の第一

歩。協議がスムーズに行くよう努めたい。

おしひ 建設容認までは町が県にお願ひされる側だった。しかし容認以降はお願ひする側となった。県は町の要望を財政が厳しいなどと削っていく可能性がある。大事なことは南関町の「苦渋の受け入れ決断」を県や県民へ発信し続けることだ。



グループホームの 増設、新設の落成式

グループホームの増設、新設の落成式がありました。3月20日：認知症対応型共同生活介護「グループホーム和楽の里」の増床、3月24日：「グループホーム谷崎」、3月27日：小規模多機能ホーム「慈幸苑」の新設と続けました。何れも9床の設備であり、27人の生活が守られることになりました。高齢化進行の中で、南関町の介護施設の受け入れ態勢が112人に増強されたこととなります。



グループホーム和楽の里(久重字坂本)



グループホーム谷崎(相谷)



小規模多機能ホーム慈光苑(関町)

企業誘致のお知らせ

★(株)茂木製作所

昨年12月13日に立地協定を締結した産業機械部品製造会社です。南関東部工業団地に進出し、昨年12月から工場建設に着手され、2月から操業開始されています。

★(株)プラトム

2月1日、関村に新工場建設の協定。同社は平成11年に南関町で創業、大手の薬品メーカーや飲料水メーカーのポリエチレン製手提げ袋などを製造しており、事業拡張のため第2工場の建設となりました。新たに地元を中心に15人程度の新規採用。

★(株)エム・ケイ・ケミカル

2月23日、企業立地協定と環境保全協定を締結。同社は化学薬品の卸売りと製造で、南関インター近くに工場が建設中です。

★エイティー九州

自動車部品の製造販売企業で、既存工場内に生産設備や検査装置の設備を拡充し、6月からブレーキ周辺部品の製造を予定。3月26日に立地協定、新たに地元を中心に20人程度の雇用の見込みです。



★九州最大級のメガソーラー建設へ

2月1日立地協定、同月13日に起工式。芝浦グループホールディングス(株)により、ホテルセキアの駐車場跡地に発電出力3300キロワット(一般世帯の900戸分)の九州最大級の太陽光発電所が設置されます。今年7月に操業開始予定です。

議会日誌

2~4月

主なものを載せています

- 2月1日 広報調査特別委員会
- 6日 広報調査特別委員会
- 7日 { 議会運営委員会
全員協議会
- 13日 { 総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会
- 14日 } 総務文教常任委員会
- ~15日 } 議員研修(三重県玉城町)
- 16日 全員協議会
- 3月1日 議会運営委員会
- 9日 } 3月定例議会
- ~16日 }
- 4月10日 産業厚生常任委員会
- 17日 広報調査特別委員会
- 19日 全員協議会
- 23日 広報調査特別委員会

Topic! 蝶の大移動



マーキングの例
2,500キロ飛んだ
アサギマダラ。もし、
こんな蝶を見つけたら
大変な発見です。

渡り鳥の移動はよく知られていますが、蝶が1,000km以上もの大移動をすることをご存知でしょうか。アサギマダラという蝶が今、愛好家の間で大変な関心を寄せています。最近、この蝶が東南アジアと日本を行き来することが蝶の羽にマーキングする調査で分かってきました。4月ごろ九州の東海岸を南風に乗って北上し、11月ごろ、今度は西寄りコースを取って東南アジアへ帰っていくようです。この蝶は17度前後の温度を好みフジバカマの蜜が好物のようです。この写真は南関町で友人宅の庭のフジバカマに来ていたのを撮ったものです。昨年の11月には大津山の山頂で11匹の乱舞に遭遇し興奮しました。山頂が整備され、そこに野草が花を咲かせ、何千キロもの危険な旅をする蝶が蜜を求めてやってくる。自然のロマンを求め、10・11月頃の天気の良い日に大津山に登ってみませんか、アサギマダラに会えるかもしれませんよ。(関村 島崎輝弘さん)



編集 集 (広報調査特別委員会)
委員長 打越 潤一
副委員長 井下 忠俊
委員 田口 浩
委員 鶴地 仁
委員 境田 敏高
発行責任者 本 田 眞 二

町では、住んでよかったプロジェクト政策に取り組み、平成22年度の出生数が63名であったのが、23年度には88名の予想です。子育てしやすい環境づくりができつつあるようです。子どもがいなくて町は無くなります。人がいなくなると雀もいなくなるそうです。もっと安心して子どもを育てやすい政策を進め、たくさんの子どものたちが遊んでいる姿をみたいものです。(境田)

先月の10日、各小学校で入学式がありました。四小では新しくなった体育館で「ういういしい」ピカピカの新生7名がやや緊張しながら拍手に迎えられて入場してきました。校歌には500の命と歌ってありますので、学校が出来た頃にはたくさん生徒がいたと思います。今は全校児童で80名です。外で子どもたちが遊んでいる姿を見かけず、声もなかなか聞けなくなりました。以前は友達と山や川などで遅くまで遊びすぎ、よく親から叱られたものです。

すずめも少子化? (見なくなりましたね)

ティーブレイク
編集後記

